

人身事故証明書入手不能理由書

事故の相手方について記入すること。

当事者	相手方(甲)	住所	大阪市中央区大手前〇-〇〇-〇〇		電話	06-****-****		
		氏名	浪速 一郎		生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日(40才)		
		自賠責保険契約先	△△△損害保険		自賠責保険証明書番号	第	11111111	号
		登録番号	なにわ22あ2222		車台番号	AA222-2222222		
	被災職員(乙)	住所	大阪市中央区大手前□-□□-□□		電話	06-****-****		
		氏名	大阪 太郎		生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日(30才)		
		自賠責保険契約先	□□□損害保険		自賠責保険証明書番号	第	33333333	号
		登録車台番号	なにわ33い3333		事故状況	運転(同乗(甲・乙)・歩行・その他)		
発生年月日時		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 午前 11時 00分頃 天候 晴れ						
発生場所		大阪市中央区谷町2丁目交差点内 において						
届出警察		大阪 警察(担当官 〇〇)		届出年月日		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日		
甲・乙以外の当事者	住所			氏名				
	自賠責保険契約先			自賠責保険証明書番号		第	号	

被災職員について記入すること。

物件事故の事故証明書の写しを添えて提出すること。

人身事故証明書入手不能理由

- 記入例1) 事故当初は軽症だった為、物件事故として処理されたが、その後痛みを訴えたので診断書を警察に持参して人身事故扱いを願い出たが受理されなかったため。
- 記入例2) 事故当時は警察に届けなかったが、認定請求時に必要だとわかり、1ヵ月後に警察に届けたが、証明できないとして受理されなかったため。
- 記入例3) 私有地内(道路以外)での事故であったため。
- 記入例4) 本事故は刑事事件として取扱いをしているため、交通事故証明書を手に入れることができません。

事故の相手方が記入すること。事故の相手方の協力が得られない場合は、その理由も上記理由欄に記載すること。

◇上記理由により人身事故証明書は取得していませんが、人身事故の事実には相違ありません。

相手方(甲) 住所 大阪市中央区大手前〇-〇〇-〇〇 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
 氏名 浪速 一郎 電話 06-****-****

(保険会社使用欄)

年 月 日					
<input type="checkbox"/> 本理由書および損害立証資料に基づき、人身事故の事実を確認しました。 <input type="checkbox"/> 損害立証資料のほか、当社の調査に基づき、人身事故の事実を確認しました。(別紙参照) <input type="checkbox"/> その他(
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">記入しないでください</div>	<table border="1"> <tr> <th style="width: 50%;">責任者</th> <th style="width: 50%;">担当者</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	責任者	担当者		
責任者	担当者				

(注) この理由書は、人身事故の交通事故証明が得られなかった際に作成すること。